

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 斐太高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月3日(火) 14:00～16:00
- 3 開催場所 斐太高等学校 有斐会館 会議室
開催にあたり、委員による施設及び授業見学を実施した
- 4 参加者

会 長	丸山 泰正	前育友会長
副 会 長	水口 浩美	高山市国府支所次長
委 員	池畑 尚哉	育友会長
	坂井 歩	高山自動車短期大学学長
	清水 大地	株式会社清水弥生堂代表取締役
	廣田 早苗	有斐会副会長
	松井 睦子	前育友会役員
	丸山 純平	高山市議会議員・飛騨ジモト大学事務局
	山下 八恵子	育友会役員
学 校 側	中村 浩一	校長
	大滝 陽子	事務部長
	足立 宏	教頭
	駒澤 誠二	教務主任
	日比野 恭一	進路指導主事
	邑上 浩司	生徒指導主事
	清水 潤	特別活動部長
	中村 香月	探究活動推進部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 施設及び授業見学について

意見1: 数学や英語の習熟度別の授業は、生徒の理解度に応じた授業となるため、効果的である。特に、高校1年生の数学で実施していることは評価できる。

意見2: 数学の習熟度別授業を見学し、生徒が教員や周りの生徒に質問しやすい雰囲気を感じた。生徒が疑問に思ったことを気軽に質問し、学び合える授業を目指してほしい。

- 意見3：生徒がグループを作り、協働的な学びができていた。他者との協働的な活動は社会で役に立つスキルであり、高校時代に身に付けておくことは社会でも非常に役に立つ。
- 意見4：初期段階の小論文指導を生成A Iに任せることは、教員の負担を減少させるだけでなく、教員がより内容面に関する指導に集中できるため、非常に有効である。
- 意見5：タブレットP Cを活用した学習活動は良い。同時に、タブレットP C使用の良い面と悪い面を考慮し、効果的に授業に活用することが重要である。
- 意見6：使用中にタブレットP Cの充電が切れることや、サイト入力後の通信反応の遅さが気になった。教室の各所に電源を配線する必要があるのではないか。
- 意見7：昨年度、高等学校D X加速化推進事業で整備した情報機器を活用していくことが、今年度の課題である。

(2) 令和7年度教育指導の重点及び学校経営計画及び各分掌の指導の重点等について

- 意見1：生成A Iを学習に活用していることは評価できる。生成A Iには、資料の論点を整理したり、キャリアプランを支援したりするなど、より高度な活用方法がある。生成A Iを用いた教育活動を考えているか。
- ⇒ 生成A Iを教育活動に取り入れるためには、教員が良い面や悪い面を理解し、効果的な活用方法を検討する必要がある。まず、教員が生成A Iについて校務で活用するための研修を実施したい。
- 意見2：昨年度、生徒対象の情報モラルの講義について、変化が激しいため最先端の情報をもつ専門家に依頼するとよいと意見した。今年度、その意見が反映され、専門家による講義を実施したことは評価できる。
- 意見3：令和8年度より、自転車の罰則が強化される。生徒に周知し指導することが必要である。また、自転車のヘルメット着用率を上げるためには、入学前に指導し、ヘルメットを購入することが効果的である。
- 意見4：成人年齢が18歳以上となり、様々な契約や選挙権を持つことについて、生徒も保護者も学んでおく必要がある。どのような指導をしているか。また、保護者への情報発信はどのようにしているか。
- ⇒ 生徒への消費者教育及び主権者教育については、家庭科や公民、LHR等の授業や、外部機関から講師を招いた講義等で実施している。また、保護者への情報発信については、今後、進学講演会やPTフォーラム等の機会を活用していきたい。

6 会議のまとめ

- ・ 第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・ 習熟度別授業や、今年度から始める教育用生成A Iを活用した授業支援事業の取組について、忌憚のない率直な意見や提案があり、今後の学校運営をともに考えていこうとする思いにあふれた大変有意義な会となった。
- ・ 次回以降の学校運営協議会でも、高等学校D X加速化推進事業の進捗状況や各分掌の活動状況等を示し、各委員からの意見も反映させながら学校の運営をしていく方針を確認した。